

アコモード タイムズ

第16号

編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特養ホーム
 - デイサービスセンター
 - ヘルパーステーション
 - 訪問入浴介護事業所
 - 在宅介護支援センター
(居宅介護支援事業所)
- アコモード

千葉県我孫子市布佐1559-2
TEL.04(7189)5201(代)・(7181)6666

明るく楽しく のびのびと

(障害をお持ちの方々へのサービス)

障害をお持ちの方々を対象とした支援費制度によるサービスが、アコモードにおいて始まったのは、平成15年4月。約2年がたとうとしていますが、これまでの歩みと現在の状況、さらに平成17年2月より実施されている、シヨートステイサービスの内容等についてお知らせします。

○訪問介護部門

訪問介護部門におけるこのサービスは、平成15年4月より開始されました。

サービス内容は身体介護、家事援助とお出かけの際にさまざまな援助を行う、ガイドヘルプがあり、対象は身体障害者、知的障害者、障害児童となっています。現在約30名弱の利用者の方がおられ、これはお年寄りの方への訪問介護サービスも含めると、全体の約4分の1を占めます。

職員によると、利用者の方、ご家族

との「コミュニケーション」を重ねるうち、援助の仕方が少しずつ分かつてきましたが、最初は高齢者との違いが分かるまで、苦労があったそうです。

そんな中、感情をなかなかお顔に出されない方が、サービスの中、少しずつにこやかになつてこられるなど、喜ばしいこともあります。

ご家族の方は特に、この制度のおかげで、サービスの選択の幅が広がったことを喜ばれています。

○通所介護部門

支援費制度によるサービスとは違いますが、健康福祉千葉方式特区事業によるこのサービスは、平成16年2月より開始されました。

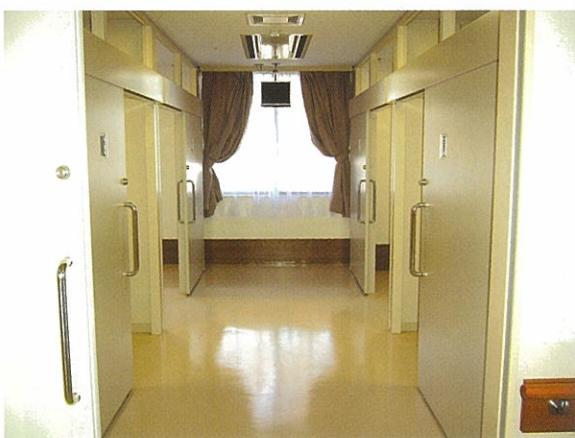
利用者はそれぞれ利用されている施設での生活が終わってから、アコモードに通われています。アコモードでは主に入浴、食事、レクリエーションなどをされます。現在(平成17年1月)、1日に7、8名の方が利用されています。

職員によると、新しいサービスだけに、最初サービスを理解していただ

○短期入所生活介護部門

短期入所生活介護部門におけるこのサービスは、平成17年2月より開始されました。これは、障害をお持ちの方々が夜宿泊され、翌朝学校その他施設へ通われるまでの、生活を支えるサービスです。

このため、現在外部よりの指導者を招き、職員間の研修を行なうなど行っています。



元気な笑顔に会いたくて

(「家族とのふれあいの時）

アコモードにお住まとの皆様へ、日々から楽しむ」や「おしゃべり」との一つに、「家族との会話」があります。土曜・日曜や祝日にはいつも多くの家族の方がお見えになり、一緒に食事をされたり、散歩に出かけられたりする中、それぞれにのんびりとお過ごしのようです。

「家族とお週り」の皆さんは、とてもリラックスされた表情をされていてもリラックスされた表情をされていないことは間うまでもありませんが、

「家族だから」と分かる様子の変化やお世話を上での注意点など、職員が教えていたたいてもあり、「のうなふれあいの時間はとても大切であると思います。これからもたくさんの方の家族の「来苑、お待ちしております。

さて、今回は皆さんがアコモードでどのようなふれあいの時間を過ごされたか、少し紹介させていただきます。



○エさんの「家族の場合

エさんの「家族は、約10日に一度、このペースでアコモードに来られます。

エさんの顔色や、相談員をはじめとする職員からの話により、エさんの近況を確かめています。

エさんからは、よく幼少時代や、結婚前の思い出話が話題になります。その際、「家族の皆さんがよくお話を聞いてあげる」と、エさんもとても気持ちが和らぐのです。

さて、お話しを伺う中、エさんは冷たい飲みものよりも温かい飲みものが、昔からお好きであることを職員に教えていたきました。これから気をつけたこと頼ります。

旬の果物を一緒に召し上がりながら、温泉に旅行に行かれた時の思い出話など、花を咲かせるそうです。そして、れまた入院される事も多かつた皆さん。今、アコモードで元気な「家族の皆さんと楽しく過ごせること」と、何より幸せを感じてこられたことがあります。

平行棒を利用したリハビリを一緒にされる」ともあり、「家族からは、もう少し平行棒が長ければもっと良いのですが…との希望を聞く」と

もできました。

○一さんの「家族の場合

一さんの「家族は遠方よりお車で来られます。

一さんとのお話しの中、一さんが2時間くらいもかけて、アコモードへ来られるのです。

一さんとのお話しの中、一さんが20歳くらいの故郷の話。今から70年くらい前のお話なので、「家族には分からぬ部分もあるのです。でも」家族は、一さんのその他大勢の

家族から、その時代の故郷の話を伝え聞いて、一さんとの楽しげな話を成り立たせるのです。

そして、「家族が」「来苑の際、決して忘れないのが、一さんには家族の近況、家の近況の報告。最後に」「いつも帰つて」れるから大丈夫よ。」とお伝えになつて、「一さんも安心する」とができます。

平行棒を利用したリハビリを一緒に来苑され、春、秋の暖かい季節には、よく外へお散歩に出かけられます。

平行棒を利用したリハビリを一緒にされる」ともあり、「家族からは、もう少し平行棒が長ければもっと良いのですが…との希望を聞く」と



研修発表会

アコモードを代表して研修に参加した職員が講師役となり、研修の成果を発表し、職員全体が勉強する場をもつてになりました。これまで行った発表会の内容は、「よりよい食事介助について」、「新しい余暇について」等です。

左下の写真は、先日行われた「認知症(痴呆)について」という発表会の風景です。この時には、自分が実際に認知症になつたり、どんな対応を周りの人に対してもらつたいかという事を考えました。認知症となつても変わらずオシャレを楽しみたい、外出をしたいなどさまざまな意見が出ました。また、一般に問題行動と言われるものについて、その理由を考えました。この中で私たちは、どんな時も(認知症であつても)お年寄りの方の立場に立つた援助を行う事の大切さを実感しました。

これからもこのよつた研修発表会の場を大いに活かし、介護の質を職員一同向上させたため、頑張つていきたいと思います。



ハーモニカの会

毎月第1水曜日。午後2時よりハーモニカの会が開かれます。ハーモニカ演奏を担当してくださるのは、「ハーモニカ・メイツ・あび」の高田政夫さん。今回は高田さんにについて紹介します。

高田さんがアコモードでの活動を始めたのは今から6年前。増床前には本館3階のホールにて、皆さんにハーモニカ演奏をしておられたのですが、現在は新館3階のホールにて、



リハビリ活動

平成16年7月より、リハビリ活動を今まで以上に専門的に実施していくため、月6回理学療法士の稻垣先生に来ていただいております。

実際にリハビリ活動を行つてくださいるのはもちろんのこと、専門的な視点からさまざまなアドバイスもしてくださいます。

稻垣先生は、「高齢者のリハビリ活動は、身体障害者のそれと比べると異なる点も多く、難しいです。」と話される一方、「だからこそやりがいもあります。」と意気込みを語つておられました。

職員も新しく始まつたリハビリ活動を適切にお手伝いしていけるよう、頑張ります。



ごぞんじですか

平成18年度以降の
介護保険制度の新しい動き

介護保険制度が平成12年に開始され、5年目にになりました。利用者も当初の2倍以上となり、給付費も年々増加し財源がきびしくなっています。

これまでの「できない」を補つサービスから今後は残存機能を維持向上させ「できる・している」を実現させる自立支援のサービスが新たに加わります。これが今話題になつていて「介護予防」です。

下肢機能の低下・栄養状態の悪化、

閉じこもりなどが原因となり徐々に生活機能が低下していく廃用症候群を予防し、住み慣れた所で元気に暮らしてもらつ」とを目的としています。

内容としては

- (1) 筋力向上トレーニング
- (2) 転倒予防教室
- (3) 地域型痴呆予防プログラム
- (4) 低栄養予防教室
- (5) 歯ミガキ奨励行と義歯調整

が検討されています。

今回の介護保険の見直しは介護保険法第2条「保険給付は要介護状態

の軽減・悪化の防止、要介護状態になるとの予防」、第4条「国民は自ら健康の保持増進に努めること、要介護状態においても進んでリハビリテーション、医療と福祉のサービスを用し有する能力の維持向上に努める」との理念に基づき「自立支援」を行なうものです。18年度からの導入のため、まだ具体的な事柄は発表されていませんが、主旨を理解し元気で自立した生活を継続できるよう、いよいよ努力していきましょう。

他に検討されていきることは

- (1) 施設給付の見直し
(食費や居住費の自己負担)
- (2) 地域包括支援センターの設置
(高齢者・障害者・児童を含めた総合相談・介護予防計画やケアプラン支援)
- (3) 地域密着型サービスの創設
(小規模多機能型サービス)
- (4) 被保険者・受給者の年齢
- (5) 保険料の見直し

などがあります。

アコモードの在宅・居宅支援事業所も皆様の相談窓口です。何かお困りの事立つ事があれば、幸いと思います。

★ティーサービスより

昨年12月にティーサービスにサンタクロースからプレゼントがありま

した。それはウォーターベット

型のマッサージ機で、水の噴射で全

身をマッサージできるというと

も気持ちの良いものです。実際に

使用された利用者の皆様からも、「リフレッシュできるわ。」「これ

を楽しみに来ているの。」と大変

好評です。また、デイルームには、入

浴後に横になつたり、お茶を飲み

ながらテレビやビデオ鑑賞の出来

る畳の掘り炬燵があり、利用者の

皆様のくつろげる憩いの場となつています。

お試しになりたい方はぜひ一度、アコモードデイサービスに足を運んでみてはいかがでしょうか。

早いもので増床されてから、1年がたとうとしています。入居者の皆さんもようやく、新しいアコモードの生活になじまれてきたことを、最近とても実感できるようになりました。

しかし、これに満足する事なく、増床前の良かつた点、他施設の良い点、

各職員研修の成果なども常に意識しながら、皆さんがあつと幸せにお過ご

します。

まとめ



今後の予定

2月 節分

3月 桃の節句

4月 お花見会

5月 端午の節句
父の日

6月 創立記念日
母の日

